

入院診療計画書② 胸腔鏡下右肺部分切除術

ID: 患者ID

新規作成日: 新規作成日

氏名: 氏名

日付							
経過	手術前日	手術前	手術後	手術1日後	手術2日後	手術3日後	退院日
目標	入院生活について理解できる	手術について理解できる	排液に問題が無い				
	治療について理解できる		疼痛のコントロールができています	呼吸状態が安定している			
			循環動態が安定している				
			体位変換ができる	歩行ができる	皮膚の状態に問題がない		自己管理ができる
注射		点滴	点滴を継続します。				
投薬	薬剤師が持参のお薬を確認します。	必要なお薬のみ服用します。	痛みが強いときは鎮痛剤を使います。 硬膜外麻酔	鎮痛剤・去痰剤の内服			
検査	採血・採尿 動脈からの採血		採血	採血	必要に応じて採血をします。		
放射線	胸部X線撮影		胸部ポータブルX線撮影	胸部ポータブルX線撮影	必要に応じて胸部X線撮影をします。		
処置	<ul style="list-style-type: none"> 身長測定 体重測定 手術部位の左右を示す印を付けます。 	<ul style="list-style-type: none"> 体重測定 弾性ストッキングを着用します。 	<ul style="list-style-type: none"> 酸素投与 吸入療法（1日2回） 血栓予防の圧迫帯を下肢に巻きます。 胸腔ドレーン留置 心電図を観察 	<ul style="list-style-type: none"> 朝食前に体重測定 吸入療法（1日4回） 	<ul style="list-style-type: none"> 空気もれがなく、排液が少なくなったらドレーンを抜きます。 胸腔ドレーン、硬膜外麻酔を抜いた翌日に終了します。 		
	食事	<ul style="list-style-type: none"> 制限はありません。 21時から食事できません。 飲水の制限はありません。 	飲食できません。		昼から全粥開始	朝から米飯です。	<ul style="list-style-type: none"> 制限はありません。 ご希望により主食を変更できます
清潔	<ul style="list-style-type: none"> 入浴できます。 浴室の予約について説明します。 			タオルで体を拭きます。	<ul style="list-style-type: none"> ドレーンを抜いた翌日からシャワー浴できます。 傷口を擦らないように注意してください。 		
排泄			尿を排出するための管が入ります。	尿量測定（3日間）			
活動	安静度	制限はありません。		ベッド上安静です。	歩行できます。	制限はありません。リハビリのため無理の無い範囲でどんどん動きましょう。	
	リハビリ				肺の拡張が十分に得られない場合、筋力の低下が見られる場合にはリハビリテーションを検討します。		
看護ケア	入院時、午後、就眠前に検温します。	朝、検温します。	1～2時間おきに状態を観察します。	起床後、午前、午後、就眠前に検温します。	起床後に検温をします。		
指導	<ul style="list-style-type: none"> 看護師から入院生活と手術についての説明があります。 主治医・麻酔科医師から説明があります。 	付き添いの方へ待機中の説明があります。	<ul style="list-style-type: none"> 医師から付き添いの方に説明があります。 深呼吸、痰の喀出、下肢の運動の指導をします。 	<ul style="list-style-type: none"> 合併症予防のために痰を出し深呼吸をしっかりと行いましょう。 寝た状態では肺が圧迫されるため、なるべく座っている時間、歩く時間を長く取りましょう。 	退院後の生活についてパンフレットで説明します。		<ul style="list-style-type: none"> 午前中に請求書をお渡しします。お支払いを確認してから、書類やお薬などをお渡します。 名札をはずしてから、退院です。
			集中治療室に入室します	呼吸器外科病棟に戻ります			